令和８年度　青森山田高等学校 通信制課程青森校 通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
現代の国語	2	2	東京書籍「新編現代の国語」	なし
評価方法	添削指導（計６回)、試験（年２回)、面接指導（計６回）での評価			

指導目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・を次のとおり育成することを目指す。

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし他者との関わりの中で伝え合う表現力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって学ぶ力を身につけながら、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

〔評価の観点〕

評価は学習で身に付ける力を次の三つの観点から指導育成し評価します。

・「知識・技能」：学習指導要領の〔知識及び技能〕について指導したことを評価する。

・「思考・判断・表現」：学習指導要領の〔思考力、判断力、表現力等〕について指導したことを評価する。

・「主体的に学習に取り組む態度」：学習指導要領に直接該当する項目はないが、次の２つの側面を評価することが求められている。

①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする側面。

②①の粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとする側面。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第１回 提出期限 4月 15 日	1　自己を見つめる 読む（話す・聞く） こそそめスープ	読む(話す・聞く) ・筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。 ・筆者の考える「自分の作り上げた異世界」について理解する。 ・本文の内容を踏まえて、自分自身の関心についてまとめる。	【知技】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・「知識・技能」学習指導要領の〔知識及び技能〕について受けとめようとし語句に関心を持ってきている。 【主】表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしようとしている。

第２回 提出期限 ５月 13 日	２　社会と関わる 読む（話す・聞く） 鍋洗いの日々	・自分の調理場での体験と必死の行動に注目し、その結果周囲がどのように変化したかを確認しながら、本文を通読する。 ・自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する働く思いを読み取る。 ・自分の将来について考えよう。	【知技】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字を丁寧に書き、文や文章の中で語彙を豊かにし正しく使っている。 【思判表】 「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を収集し、伝え合う。 【主】粘り強く筆者の主張の要旨を捉え、今までの学習を活かして自分の関心をまとめ説明する力を養う。
第３回 提出期限 ６月 17 日	社会と関わる 動きを引き出す言葉の力 漢字と語彙	「コーチング」における言葉の働きに注意して、本文を通読しよう。 ・「コーチン」グにおける言葉の役割を踏まえ、仕事と言葉の関わりについて考える。 ・実生活における言語活動の例をあげ、それぞれの職種の場面での言葉の工夫と仕事のやりがいについて捉え、話し合おう。	【知技】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、語彙を増やし、文や文章の中で有効に使っている。 【主】筆者の主張を理解し、読書を通してさまざまな職種に関心を持ち、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。 【前期末試験】
第４回	３　世界とつながる 美しさの発見	「美」という抽象的な題材について論じた文章を読み、その展開を論理的に捉え、筆者の価値観を理解する。 １　筆者は、「美しさの発見」とは、どのようなものであると述べてるか、考えよう。 ２　自分が「美しさ」を発見したものについて、さまざまな聞き手を想定したうえで、自分の思いを、まとめて聞き手に伝わるように発表しよう。〈口頭発表〉	【知技】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、語彙を増やし、文や文章の中で語感を磨き、言語生活を豊かにしている。 【思判表】 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えている。話の構成や展開を工夫して

提出期限 10 月 21 日		原稿用紙の使い方（横書き） 文章を要約してみよう。	いる。 【主】筆者の美しさの発見」についての価値観や主張を理解し、自分が「美しさ」を発見したものについて聞き手を想定して伝えようとしている。
第５回 提出期限 11 月 18 日	読む（話す・聞く/書く） 世界とつながる りんごのほっぺ	出来事の順序に着目しながら、戦時下の人々の状況と、作品に一貫する筆者の思いを読み取る。 １「りんごのほっぺ」という題名に筆者のどのような思いが込められているか、考えよう。 ２戦争体験を語り継いでいくことの意義について話し合う。 ３六百字程度の字数で戦争についての思いを文章にまとめてみよう。 〈原稿用紙の使い方 〉 ①段落構成の設定について ②縦書き・横書き ③符号の記入・数字・アルファベット	【知技】 常用漢字の読みに慣れ、文章の中で有効的に使っている。 【思判表】 ・書くことにおいて、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方をかんがえるとともに、表現の仕方を工夫している。 【主】戦争体験を語り継ぐ意義を考え、話し合おうとしている。
第６回 提出期限 12 月 9 日	４未来に目を向ける 真の自立とは	漢字と語彙 ・筆者は「自立」をどのように考えているのか二つの意味段落の内容を押さえながら、本文を通読する。 ・「自立」の在り方について考察する文章を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。	【知技】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、語彙を豊かにしている。 【思判表】 「話すこと・聞くこと」において、実社会の中から適切な話題を決め、さまざまな観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、表現の仕方について創意工夫している。 【主】粘り強く筆者の体験とそこから学んだことへの理解を深め、今までの学習を生かして自らの考えを広げようとしている。 【後期末試験】

令和８年度　青森山田高等学校 通信制課程青森校 通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
言語文化	2	2	東京書籍「新編言語文化」	なし
評価方法	添削指導（計６回)、試験（年２回)、面接指導（計６回）での評価			

指導目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

〔評価の観点〕

評価は学習で身に付ける力を次の三つの観点から指導育成し評価します。

・「知識・技能」：学習指導要領の〔知識及び技能〕について指導したことを評価する。
・「思考・判断・表現」：学習指導要領の〔思考力、判断力、表現力等〕について指導したことを評価する。
・「主体的に学習に取り組む態度」：学習指導要領に直接該当する項目はないが、次の２つの側面を評価することが求められている。

①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする側面。
②①の粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとする側面。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第１回 提出期限 ４月 22 日	読む １竹取物語	読む(話す・聞く) １歴史的仮名遣いに慣れる. ２古語文法に関心を持つ。 〈品詞分解〉 ３日本最古の小説として内容を把握し、登場する人物の会話等に関心を寄せて現代語訳する。	【知技】 ・本文を音読し、歴史的仮名遣いに慣れる。 【思判表】 「読むこと」において文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主】進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとしている。

第２回 提出期限 ６月３日	宇治拾遺物語 児のそら寝 古典の文章を音読しよう	古文に親しむ。 １歴史的仮名遣いに慣れる。 ２児の気持ちの変化（児が心の中で思っている部分）を整理し、最後の描写の意味について考える。 ３古文学習のしるべ １）古文の言葉と仮名遣い それぞれの文章の、リズムや調子の違いを感じ取る。 １古文の代表的な作品の冒頭を音読する。 ２代表的な作品を書写する。 ３文語の決まりや訓読のきまり、古典特有の表現などに理解し体感する。 ４不易なる幼児に対する大人の思いを学ぶ。	【知技】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・繰り返し音読して古典の世界に親しみ、我が国の言語文化の特質や日本文化を理解している。 【思判表】 「読むこと」において文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主】進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとしている。 【前期末試験】
第３回 提出期限 ９月 16 日	３詩歌 うたの心 折々のうた 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集	詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を捉えて、内容を解釈する。 読むこと 引用歌や体験談に注意しながら、日本独特の桜に対する感性について理解を深める。 １桜に対するイメージや筆者について知っていることを発表する。 ２本文を通読し、三つの部分に分けて、それぞれの話題をまとめる。	【知技】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、語彙を増やし、言語文化に特徴的な語句の量を増やし、文化的背景について理解を深める。 【主】日本独特の桜に対する感性について理解を深め、筆者の桜への思いを整理しようとしている。
第４回 提出期限 ９月 16 日	さくらさくらさくら 筆者の思いに沿って本文を読み味わう	３短歌の内容と詠まれた心情について考える。 ４筆者自作の短歌三首について、それぞれの歌の内容と詠まれた心情を考えよう。 ５各自の体験をもとに短歌を詠んでみよう。創作活動〈言語活動〉	【思判表】 「話すこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【主】進んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら自己の体験を短歌に込め、作品を発表しようとしている。

第５回 提出期限 11 月 11 日	日々の思い 随筆 徒然草 「亀山殿の御池に」	古文の表現に慣れ、随筆に表れた作者の考え方を、叙述を基に捉えよう。 見聞や経験、感想が自由に書き記された随筆には、人間の生活や自然などに対する作者の考えが表れている。結びの一文には、作者のどのような考えが表されているのか。 古文学習のしるべ３ 用言の活用について 動詞「咲く」の活用の仕方を知ろう	【知技】 古語に興味を深め、我が国の言語文化に特徴的な語の量を増し、文化的背景について理解している。 【思判表】 詠むことにおいて、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。 【主】進んで文語の決まりや古典特有の表現を理解し、課題学習に沿って作者の考えを的確に捉えようとしている。
第６回 提出期限 12 月２日	読む 羅生門 言語	漢字と語彙 １全文を通読し、時代背景を確かめる。 ２「下人」の内面の変化を順を追って整理する。 ３小説の主題について、自分なりに考えて発表する。 ４本文の主題「ニヒリズム」について、見解を自分なりにまとめる。 ５「下人」と「老婆」の会話を、それぞれの人物になったつもりで、役割読みする。 ６「下人」がこの後、どうなったのかを想像し話し合う。	【知技】言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 【思判表】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主】進んで描かれている内容についての見解をまとめ、学習課題に沿って、発表や討論を通じて得た他の意見も踏まえながら、考えを深めようとしている。 【後期末試験】

令和８年度　青森山田高等学校 通信制課程青森校 通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
地理総合	２	２	東京書籍「地理総合」	なし
評価方法	添削指導（計４回）、試験（年２回）、面接指導（計４回）での評価			

指導目標
１）地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課 題への取組などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や 諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。
２）地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と 自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりするカや，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

〔評価の観点〕評価は学習で身に付ける力を次の三つの観点から把握します。
（技能・知識）
・地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。
（思考・判断・表現）
・地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的、多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。
（主体的に学習に取り組む態度）
・知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとしている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画
第１回 実施日 4月２２日 提出期限 5月１３日	第２章：さまざまな地球的課題と国際協力 １節：地球環境問題 ２節：資源・エネルギー問題 ３節：人口問題	1，地球環境問題 2，資源エネルギーの偏在 3，化石燃料から再生可能エネルギーへ 4，発展途上国の人口問題 ５，先進国の人口問題	・地球環境問題の現代について ・森林の減少や砂漠化の進行について ・エネルギー消費の南北格差の現状と背景について ・途上国が抱える人口問題について ・少子高齢化が進む背景とその影響について
第２回 実施日 ５月１３日 提出期限 5月２０日	４節：食料問題 ５節：居住・都市問題 ６節：民族問題・紛争と平和の構築 ７節：持続可能な社会の実現を目指して	6，食料需給をめぐる問題（食料問題の解決に向けて） 7，発展途上国の居住・都市問題 8，先進国の居住・都市問題 9，民族問題・難民問題 10，地球的課題と国際協力	・食料問題が生じる背景について ・途上国の都市問題～発生の要因について ・先進国の都市化と郊外化、都市再開発について ・地球的課題の解決へ向けて 【前期末試験】７月８日

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画
第３回 11月11日 提出期限 11月18日	第３編：持続可能な地域づくりと私たち 第１章：自然環境と防災 １節：日本の自然環境の特色	11，日本の地形の特色 12，日本の気候の特色	・地形の特性と自然災害との関係性について ・プレート境界地震とプレート内地震の違いについて ・地震災害の軽減へ向けた取り組みについて ・季節ごとに生じる気象災害の原因について ・都市型災害の要因・影響について ・防災・減災へ向けた各地域における取り組みについて 【後期末試験】１月２７日
第４回 実施日 1月13日 提出期限 1月20日	２節：さまざまな自然災害と防災	13，地震災害・津波災害 14，火山の災害とめぐみ 15，気象災害 16．都市と自然災害 17，防災・減災と復旧・復興・防災アクション	

令和８年度　青森山田高等学校 通信制課程青森校 通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
歴史総合	２	２	東京書籍「歴史総合」	なし
評価方法	添削指導（計４回）、試験（年２回）、面接指導（計４回）での評価			

指導目標
１）身近な事柄が、時間的な推移や空間定な結びつきの中で歴史と結びつきを持っていることを理解させる。
２）社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な資質・能力を育成する。
３）よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めさせる。

〔評価の観点〕
評価は学習で身に付ける力を次の三つの観点から把握します。
（技能・知識）
・情報全体の傾向性を踏まえて、社会的事象等を調べまとめる技能（社会的事象等に関する情報を収集する・読み取る・まとめる技能）を身に付けている
（思考・判断・表現）
・社会的な見方・考え方を用いて、社会的事象等を見出し、社会的事象等の意味や意義，特色や相互の関連を考察している
（主体的に学習に取り組む態度）
・学習対象（社会的事象等）について、問いや追究の見通しを持って主体的に調べ分かろうとして課題を振り返り、学んだことの意味に気付いて意欲的に追究している

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第１回 提出期限 5月27日	３節　経済危機と第二次世界大戦 ４節　国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	１：世界恐慌 ２：アジア・アフリカと大衆社会 ３：国際協調体制の崩壊 ４：日中戦争と深刻化する世界の危機 ５：第二次世界大戦の展開	・世界恐慌および国際協調体制の崩壊について ・日中戦争・太平洋戦争・第二次世界大戦について
第２回 提出期限 6月24日	４節　国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 第３章　グローバル化と私たち １節　グローバル化への問い ２節　冷戦と世界経済	６：連合国の戦後構想 ７：アジア太平洋戦争と日本の敗戦 ８：連合国の占領政策 ９：冷戦の拡大と第三勢力 10：キューバ危機と核兵器の管理 11：脱植民地化の進展と地域紛争	・連合国の占領政策および再編されるアジアと冷戦について ・冷戦が日本の占領政策の変化に与えた影響について ・冷戦の拡大と核兵器の管理、および地域紛争について 【前期末試験】

第3回 提出期限 11月4日	2節　冷戦と世界経済	12：計画経済と開発 13：冷戦下の日本とアジア 14：日本と欧米先進国の経済成長 15：地域連携の拡大 16：ベトナム戦争と冷戦構造の変容	・戦後の計画経済と開発、および冷戦下の日本・アジアについて ・先進国の経済成長と地域連携の拡大およびベトナム戦争について ・先進国の経済成長の要因と社会の変化について
第4回 提出期限 1月13日	3節　世界秩序の変容と日本 4節　現代的な諸課題の形成と展望	17：石油危機と経済の自由化 18：アジアの経済発展と日本 19：冷戦の終結と世界 20：拡散する地域紛争 21：民主化の進展 22：グローバル化と地域統合	・近代を問い直す新しい考えと動き、石油危機に対する経済政策について ・冷戦の終結と地域紛争、および平和維持活動の役割の拡大について ・グローバル化やと地域統合、持続可能な社会の必要性について ・グローバル化の負の側面がもたらす具体的な影響について 【後期末試験】

令和8年度　青森山田高等学校　通信制課程青森校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教　科　書	教科担当者	副教材
数学Ⅰ	3	2年	東京書籍「新数学Ⅰ」	瀧澤 収作	なし
評価方法	添削指導（7回）、 試験（年２回）、 面接指導（7回）での評価				

指導目標　数学的な見方・考え方を働かせ、数学的な活動を通して、数学的に考える資質・能力を次の通り育成することを目指す。
(1) 数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、他の散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

評価の観点
【主体性】
・数学のよさを認識し数学を活用し、粘り強く柔軟に考え，数学的論拠に基づき判断している。
【知識・技能】
・数と式，2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。
・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付ける。
【思考・判断力・表現力】
・数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を身に付ける。
・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付ける。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第1回 実施日 4月22日 提出期限 5月20日(水)	3章 三角比 1節 鋭角の三角比 ①三角形	1．相似な三角形 2．三平方の定理 3．三角定規の3辺の比	面接指導(～2月26日(水)まで) ・ 相似な三角形，三平方の定理について
第2回 実施日 5月20日 提出期限 6月3日(水)	3章 三角比 1節 鋭角の三角比 ②タンジェント ③サインとコサイン	1．タンジェント 2．サインとコサイン 3．30°，45°，60°の三角比	・ サイン，コサイン，タンジェントの意味について
第3回 実施日 6月17日 提出期限 6月24日(水)	3章 三角比 1節 鋭角の三角比 ④三角比の利用	1．三角比の表 2．タンジェントの利用 3．サイン・コサインの利用	・ 三角比の表の利用の仕方について ・ tanAやsinA，cosAを利用して，いろいろな長さや高さの求め方について ■ 前期単位認定試験【7月8日～16日】
第4回 実施日 9月9日 提出期限 10月7日(水)	3章 三角比 1節 鋭角の三角比 ⑤三角比の相互関係 ⑥90°－Aの三角比	1．三角比の相互関係 2．90°－Aの三角比	・ サイン，コサイン，タンジェントのの間に成り立つ関係について
第5回 実施日 9月16日 提出期限 11月4日(水)	3章 三角比 2節 三角比の応用 ①三角形の面積 ②正弦定理	1．三角形の面積 2．正弦定理 3．外接円との関係	・ 辺と角から，三角形の面積を求めることについて ・ 正弦定理を活用することについて
第6回 実施日 10月7日 提出期限 11月20日(水)	3章 三角比 2節 三角比の応用 ③余弦定理 ④鈍角の三角比	1．3辺から角を求める 2．三角比と座標 3．鈍角の三角比 4．0°，90°，180°の三角比	・ 0°から180°までの角に対する三角比について

第7回 11月4日 提出期限 12月2日(水)	3章 三角比 2節 三角比の応用 ⑤三角比の相互関係 ⑥鈍角の三角比の利用	1. 三角比の相互関係 2. $180^\circ - \theta$ の三角比 3. 空間図形と三角比	・ 鈍角三角形の正弦定理，余弦定理，面積公式について ・ 解の公式を用いて2次方程式を解くことについて ■ 後期単位認定試験【1月27日～1月28日】

令和8年度　青森山田高等学校　通信制課程青森校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教　科　書	教科担当者	副教材
数学A	2	2年	東京書籍「新数学A」	瀧澤 収作	なし
評価方法	添削指導（計４回）、 試験（年２回）、 面接指導（ ４回 ）での評価				

指導目標　数学的な見方・考え方を働かせ、数学的な活動を通して、数学的に考える資質・能力を次の通り育成することを目指す。
(1) 図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2)図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数学的に考察する力を養う。

評価の観点
【主体性】
・数学のよさを認識し数学を活用し、粘り強く柔軟に考え，数学的論拠に基づき判断している。
・問題解決の過程を振り返って，考察を深めている。
【知識・技能】
・場合の数と確率，図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。
・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付ける。
【思考・判断力・表現力】
・不確実な事象に着目し，確実の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を身に付ける。
・図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力を身に付ける。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第1回 実施日 5月13日 提出期限 6月3日(水)	1章 場合の数と確率 2節 確率 ①事象と確率 ②確率の計算	1. 試行と事象 2. 確率の意味 3. 確率の計算	・ 試行と事象，事象の確率について ・ 確率の意味について ・ いろいろな試行での確率について
第2回 実施日 6月3日 提出期限 6月24日(水)	1章 場合の数と確率 2節 確率 ③排反事象の確率 ④余事象の確率 ⑤独立な試行の確率	1. 排反事象の確率 2. 余事象の確率 3. 独立な試行の確率	・ 確率の加法定理，排反事象の確率について ・ 余事象の確率について ・ 独立な試行の意味，独立な試行の確率について ■ 前期単位認定試験【7月8日～16日】
第3回 11月11日 提出期限 12月9日(水)	2章 図形の性質 1節　平面図形の基本 ①直線と角 ②多角形の角 ③三角形の合同と相似	1. 対頂角と同位角，錯角 2. 三角形の内角と外角 3. 多角形の内角と外角 4. 三角形の合同と相似	・ 平面図形の基礎となる直線や角について ・ 多角形の角の大きさについて ・ 2つの三角形について，形や大きさに注目して，その関係について
第4回 実施日 12月9日 提出期限 1月13日(水)	2章 図形の性質 3節　円の性質 ①円の接線 ②円周角の定理 ③円に内接する四角形	1. 円の接線 2. 円の外にある1点からの接線 3. 円周角の定理の逆 4. 円に内接する四角形の性質 5. 四角形が円に内接する条件	・ 円周角の定理し，円周角の定理の逆について ・ 円の接線の性質，接線の長さについて ・ 円に内接する四角形の性質について ・ 四角形が円に内接する条件について ■ 後期単位認定試験【1月27日～1月28日】

令和８年度　　青森山田高等学校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
科学と人間生活	2	2 年	東京書籍「科学と人間生活」	なし
評価方法	添削指導（計　9　回），試験（年２回），面接指導（年　9　回）での評価			

指導目標

〇自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けさせる。

〇観察，実験などの基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録、整理する方法を明確にし、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けさせる。

〇自然の事物・現象の中に見通しをもって課題や仮説を設定し，根拠を基に導き出した考えを表現させる。

〇自然の事物・現象に主体的にかかわり，それらを科学的に探究しようとするとともに，探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとさせる。

（評価の観点）

【知識・技能】自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。
観察，実験などを行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】〇自然の事物・現象の中に見通しをもって課題や仮説を設定し，観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，根拠を基に導き出した考えを表現している。

【主体的に取り組む態度】自然の事物・現象に主体的にかかわり，それらを科学的に探究しようとするとともに，探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとしている.

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 4 月　　22 日	1編　生命の科学 2章　ヒトの生命現象	1　ヒトの視覚と光による影響 A　視覚とは何か B　眼の構造とはたらき 2　血糖濃度を調節するしくみ A　血糖とは何か B　血糖濃度の調節	面接指導（～１月１３日まで） ・視覚が生じ方。 ・ヒトの眼の構造。 ・血糖濃度とそれを維持するための体内でのグルコースの流れ。 ・血糖濃度を調節。
第　2　回 提出期限 5 月　　13 日		3　生命現象の大もととなる遺伝子のはたらき A　遺伝子とDNA B　DNAの遺伝情報からタンパク質へ 4　体を守る免疫のしくみ A　免疫ではたらく抗体 B　免疫記憶	・遺伝情報を担う遺伝子や遺伝子の本体であるDNA。 ・タンパク質によるアミノ酸の並び方。 ・ヒトの体内にある多くの種類のタンパク質のさまざまなはたらき。 ・感染症。 ・免疫とリンパ球のはたらき。
第　3　回 提出期限 7 月　　1 日	2編　物質の科学 2章　材料とその再利用	1　リサイクルとは何か A　資源の再利用と3R 2　金属の性質とその再利用 A　金属の性質 B　異なる金属の区別 C　金属の製錬 D　さびとその防止 E　金属の再生利用	・循環型社会と3R。 ・金属と非金属の性質の違い、金属に特有の性質。 ・銅の製錬方法。 ・金属特有の性質。 ・銅の製錬方法。 ・さび。 ・金属の再生利用の基本と、リサイクルマーク。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　4　回 提出期限 9 月　　16 日	2編　物質の科学 2章　材料とその再利用	3　プラスチックの性質とその再利用 A　プラスチックの性質と分類 B　プラスチックはどのようにつくるのか C　さまざまな機能をもつプラスチック	・プラスチックの種類や特徴、用途。 ・プラスチックの原料。 ・モノマーとポリマー、重合（付加重合、縮合重合）などのプラスチックの構造。 ・日常生活でのプラスチックの利用。
第　5　回 提出期限 10 月　　14 日	3編　光や熱の科学 2章　熱の性質とその利用	1　熱とは何か A　原子や分子の熱運動 B　熱の伝わり方 C　熱容量と比熱	・原子や分子の熱運動と温度との関係について理解する。 ・熱の伝わり方には熱伝導、対流、放射があることと、それぞれの熱の伝わり方について理解する。 ・熱平衡、熱量、熱容量について理解する。
第　6　回 提出期限 11 月　　4 日		2　エネルギーの利用と私たちの暮らし A　力学的エネルギーから熱エネルギーへ B　ほかのエネルギーから熱エネルギーへ C　熱エネルギーから仕事への変換 D　エネルギーの有効利用	・力学的エネルギーが熱エネルギーに変換する仕組み。 ・家庭での電気の効率的な使い方。 ・エネルギーの変換と保存。
第　7　回 提出期限 11 月　　11 日	4編　宇宙や地球の科学 2章　太陽と地球	1　太陽と月がもたらすリズム A　太陽と月がつくる暦 B　海水面の変動と潮の満ち干をもたらす力	・地球の自転と公転によって、1日や1年が定義されている。 ・潮の満ち干と月の引力との関係。
第　8　回 提出期限 12 月　　2 日		2　太陽が動かす大気と水 A　太陽の放射エネルギー B　地球を暖める太陽の放射エネルギー	・太陽のエネルギー源や太陽の表面の様子について。 ・温室効果ガスと温室効果の仕組み、地球温暖化。
第　9　回 提出期限 1 月　　20 日		C　太陽がつくる大気の循環 D　大気と海洋の循環がつくる気候 E　日本の四季と気象災害	・大気の大循環。 ・地球の公転と自転軸の傾きによって季節が生じること。

令和８年度　青森山田高等学校通信課程青森校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
体育	2	2年	大修館「現代高等保健体育」	なし
評価方法	添削指導（計　2　回），試験（年2　回）面接指導（年　10　回）での評価			

指導目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ，課題を発見し，合理的，計画的な解決に向け た学習過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって心身の健康を保持増 進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを 目指す。

（1）各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理 解するとともに，技能を身に付けるようにする。

（2）運動や健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向 けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。

（3）生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を 目指し，明るく豊か

（評価の観点）

【主体性】・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理し、自己のスポーツへの関わりを見出したりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見しようとしている。

【知識・技術】・スポーツの歴史、文化的役割について理解を深める。ともに、諸資料からスポーツの意義に関わる

【思考・判断力・表現力】・スポーツの歴史、文化的役割について理解を深めるとともに、諸資料からスポーツの意義に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめられるようにする。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第１～第５回 提出期限 6 月　　4 日	・春季遠足	・大自然の中でウォーキングとグループワーキング ・体力と技能の関係 （遠足欠席者）	面接指導（～1月14日まで） ・簡易体操とウォーキング ・運動を効果的に行うために、目的にあった体力が必要なことへの理解
第6～第10回 提出期限 10 月　　22 日	・秋季遠足	・大自然の中でウォーキングとグループワーキング ・ライフスタイルに応じたスポーツ（遠足欠席者）	・簡易体操とウォーキング ・ライフスタイルは個人個人違うので自分にあったスタイルを見出す

令和８年度　青森山田高等学校通信課程青森校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
保健	1	2 年	大修館「現代高等保健体育」	なし
評価方法	添削指導（計　2　回），試験（年２回），面接指導（年　2　回）での評価			

指導目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的・計画的な解決に向けた学習過程を通して，生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能 力を次のとおり育成する。

（1）個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。

（2）健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。

（3）生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

（評価の観点）

【主体性】

現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。

【知識・技術】

人々が精神疾患について正しく理解するとともに、専門家への相談や早期の治療などを受けやすい社会環境を整えることが重要であること、偏見や差別の対象ではないことについて、理解を深めそれを周囲へ発信できる。

【思考・判断力・表現力】

健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして道筋を立てて説明できる。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 6 月　　24 日	２単元 安全な社会生活	1．応急手当の意義 2．応急手当の手順 3．けがに応じた応急手当	面接指導（～１月１３日まで） ・応急手当の意義を理解する。 ・応急手当の手順やポイントを理解する。 ・日常的なけがの対策方法を学ぶ。
第　2　回 提出期限 1 月　　13 日	２単元 安全な社会生活	1．熱中症の応急手当 2．心肺蘇生法	・熱中症対策方法を学ぶ。 ・心肺蘇生法の手順を理解する。

令和８年度　青森山田高等学校通信課程青森校　通信教育実施計画書　【教科担当者：白岩 貢】

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
音楽Ⅰ	2	2 年	大修館 「音楽Ⅰ改訂版Tutti＋」	なし
評価方法	添削指導（計9回）、試験（年2回）、面接指導（年9回）での評価			

指導目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。（１）曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。（２）自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。（３）主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

（評価の観点）

【主体性】・主体的に音楽に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、音楽文化の継承、発展、創造に寄与する態度が養なわれている。

【知識・技能】・音楽に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、表現意図を音楽で表すために必要な知識・技能を身につけている。

【思考・判断力・表現力】・音楽に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、音楽の表現内容を解釈したり音楽の文化的価値などについて考え、表現意図を明確に持ったり、音楽や演奏の価値を見出して鑑賞したりすることができる。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 実施日5/20 提出期限 5 月　20 日	①日本語の歌を歌おう ②ト音記号とヘ音記号	・学園歌の歌唱 ・大譜表上での音の位置	・学園歌の歌詞の書き取り ・ト音譜表、ヘ音譜表上での音の位置 ・鍵盤上での音の位置の確認
第　2　回 実施日6/3 提出期限 6 月　3 日	①日本語の歌を歌おう ②ト音記号とヘ音記号	・「夏の思い出」の歌唱 ・強弱記号の意味 ・大譜表上の位置と鍵盤の確認	・「夏の思い出」のプロフィール ・クレッシェンドとデクレッシェンド ・イタリア音名の確認
第　3　回 実施日6/17 提出期限 6 月　17 日	①日本語の歌を歌おう ②拍子と速度記号	・「夏の思い出」調性と歌詞の意味 ・拍子記号とその意味	・「夏の思い出」楽曲分析 ・調性と拍子 ・速度に関する記号の意味

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　4　回 実施日6/24 提出期限 6 月　24 日	①日本語の歌を歌おう ②拍子と速度記号	・学園歌の復習 ・拍子記号の確認 ・速度に関する記号の確認	・学園歌の書き取り ・2拍子、3拍子、6拍子の違い ・速度記号、メトロノーム記号の確認 【前期末試験】
第　5　回 実施日9/9 提出期限 9 月　9 日	①イタリア語の歌を歌おう ②強さを表す記号	・Caro mio benについて ・ピアノとフォルテ ・クレッシェンドとデク	・イタリア語の読みと歌唱 ・ピアノとフォルテの意味 ・強弱を変化させる記号
第　6　回 実施日10/7 提出期限 10 月　7 日	①声という大切な楽器 ②強弱記号	・発声器官と筋肉、骨格 ・ピアニシモからフォルテッシモまで ・クレッシェンドとデク	・共鳴と振動について ・発声における骨格と筋肉の役割 ・音量の変化の際用いる記号
第　7　回 実施日10/21 提出期限 10 月　21 日	①日本語の歌を歌おう ②異名同音 ③長調	・赤とんぼの楽曲分析と歌唱 ・シャープとフラットの役割	・赤とんぼの歌詞の意味、作詞・作曲者について ・全音と半音 ・調性と調号
第　8　回 実施日11/18 提出期限 11 月　18 日	①楽典のまとめ ②コードネーム	・長調と短調 ・長音程と短音程 ・コードネームの意味と構成音	・長音階と短音階の音の並び ・調号 ・メジャーコードとマイナーコード
第　9　回 実施日12/2 提出期限 12 月　2 日	①ドイツリートについて ②シューベルトの役割	・音楽の歴史とドイツリートの誕生 ・シューベルトの名曲	・音楽史におけるシューベルトの役割 ・未完成と魔王 ・ドイツリートの名曲 【後期末試験】

令和８年度　青森山田高等学校通信課程青森校　通信教育実施計画書　教科担当者　對馬理夫

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
英語コミュニケーションⅠ	3	**２年**	All Aboard！　東京書籍 English Communication Ⅰ	なし
評価方法	添削指導(計 13 回)，試験(年２回)，での評価			

指導目標

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域(以下この節において「五つの領域」という) 別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第１款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第１款の(3)に示す資質・能力を育成する。

必要な情報を読み取り、書き手や話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に捉えたりすることができる。

(評価の観点)

【主体性】書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えをまとめるために、自分の考えや好みなど、その理由を書いたり伝えようとすることができる。

【知識・技能】各文法を用いた文の形・意味・用法を理解する。

【思考・判断力・表現力】知識を基に、情報を整理・分析し(思考)、妥当性を評価して答えを導き(判断)、他者に伝える(表現)能力を自ら考えることで養われるようにする。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画
第１回 実施日 4/15 提出期限　５月７日	Pre-Lesson1,2 Be 動詞,一般動詞の違い Lesson 1 Breakfast around the world 私の朝ごはん	Be 動詞・一般動詞の文 平叙文/否定文/疑問文 過去形 Be 動詞の過去形 一般動詞の過去形	演習問題レポート No.1
第２回 実施日 5/13 提出期限　５月 21 日	Lesson 2 Australian's Cute Quokkas 人なつっこい野生動物	進行形 現在進行形 過去進行形	演習問題レポート No.2

第 3 回 実施日 5/20 提出期限　5 月 27 日	Lesson 3 A Train Driver in Sanriku 笑顔を運ぶ列車	助動詞 　can を用いた文 　wlll を用いた文	演習問題レポート No.3
第 4 回 実施日 6/3 提出期限　6 月 17 日	Lesson 4 A Miracle Millor 夢のような絶景	to 不定詞 　名詞的用法 　副詞的用法 　形容詞的用法	演習問題レポート No.4
第 5 回 実施日 6/17 提出期限　6 月 25 日	Lesson 5 Learning from the sea 長浜高校水族館部	動名詞 　主語・補語・目的語になるもの/前置詞の後ろにくるもの	演習問題レポート No.5 7/9【前期 期末考査】
第 6 回 実施日 9/9 提出期限　9 月 16 日	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period 奇想天外な浮世絵師	受け身 　by を用いる場合 　by 以外を用いる場合 　知覚動詞	演習問題 レポート No.6～7
第 7 回 実施日 9/16 提出期限　9 月 24 日	Lesson 7 A Diary of Hope アンネ・フランク	比較表現 　比較級 　最上級 　原級	演習問題レポート No.8
第 8 回 実施日 10/7 提出期限　10 月 22 日	Lesson 8 A Door to a New Life ロボットカフェ	現在完了形 　現在分詞 　過去分詞	演習問題レポート No.9
第 9 回 実施日 11/4 提出期限　11 月 11 日	Lesson 9 Fighting Plastic Pollution 海の豊かさを守る	分詞の形容詞的用法 　現在分詞 　過去分詞	演習問題レポート No.10
第 10 回 実施日 11/11 提出期限　12 月 2 日	Lesson 10 Pigs from across the Sea 海の向こうからの贈り物	関係代名詞 　who 　which	演習問題レポート No.11
第 11 回 実施日 11/18 提出期限　12 月 9 日	演習問題を中心に実施	be 動詞/一般動詞 代名詞/形容詞/副詞	演習問題レポート No.12
第 12・13 回 実施日 12/2・12/9 提出期限　1 月 28 日	演習問題を中心に実施	命令文/助動詞/代名詞 現在完了形 現在完了進行形	演習問題レポート No.13 1/28【後期 期末考査】

青森山田高等学校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
総合的な探究の時間	1	2 年	なし	なし
評価方法	添削指導（計　2　回），試験（なし），　面接指導（年　2　回）での評価			

指導目標

探究の見方・考え方を働かせ，横断的・総合的な学習を行うことを通して，自己の 在り方生き方を考えながら，よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を 次のとおり育成することを目指す。

１）探究の過程において，課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け，課題に関わる概念を形成し，探究の意義や価値を理解するようにする。

２）実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし，自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ・表現することができるようにする。

3）探究に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら，新たな価値を創造し，よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

（評価の観点）

評価は学習で身に付ける力を次の三つの観点から把握します。

（技能・知識）・現実社会の諸課題の解決に向けて、その原因や背景、要因を探求するための手がかりとなる知識を見付けるとともに、様々な手段を用いて研究に必要な諸情報を適切かつ効果的に収集できる手法を身に付けている。

（思考・判断・表現）・探究活動を通して、現実社会の諸活動を多様な視点から分析し、その原因や解決への取り組みを導き出し、導き出した結論を証拠に構想したり、社会の在り方などについて構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断したり、実現したりすることができている。

（主体的に学習に取り組む態度）・現代の諸課題を考察し、その課題の解決に向けての方策を主体的に追及しようとしている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回	LHR	学校生活について	・学校生活のきまりについての確認 ・授業、レポートについての確認 ・欠席に関しての確認
第　2　回	自己の生き方を考える	高校卒業後の進路	・高校卒業後の進路の選択肢について ・進学することのメリットとデメリット ・就職することのメリットとデメリット ・自身の高校卒業後の生き方について考える。